

残雪期の北アルプス

2022/05/03(火)～5/6(金)

常念岳 2857m 蝶ヶ岳 2677m 縦走

残雪期の雪上歩行と槍穂高連峰のパノラマを楽しむ

<参加メンバー>7人(女性3名男性4名) <天候> 山行中は晴

<コースタイム>

(5月3日)

07:00 JR川西池田駅より自家用車分散にて出発
15:15 安曇野着 国設アルプス安曇野公園散策

(5月4日)

07:45 タクシー乗車にて一ノ沢登山口へ
08:30 登山口より登山開始
8:45 山の神通過
11:00 ごろ 雪渓でアイゼン装着
13:40 常念乗越到着
14:00 常念小屋に投宿

(5月5日)

06:00 常念小屋スタート
07:15～07:40 常念岳山頂
09:15～09:25 2519 ピークにて遠望
11:10～11:25 鞍部にてランチタイム
12:15 蝶槍
13:25 蝶ヶ岳
14:25 長堀山
17:00 徳澤園到着

(5月6日)

08:00 徳澤園出発
11:00 上高地バスセンターにて TAXI 乗車
11:30 沢渡駐車場にて回送された自家用車にて川西池田へ

<山行の概要>

1日目 風も無く晴天。雪の無い樹林帯を進む。情報では渡渉の危険性も確認していたが難なく進むこと3時間。1800m付近でアイゼン装着。ここから冬道は常念乗越まで直登。雪は腐りアイゼン歩行も力が入る。稜線も見えてかなりの急登。稜線の方から「やっべえ～」声が響いてきた。やっどこさ到着

目の前には雪と岩稜で輝く槍穂が。雄大なパノラマが私達を迎えてくれた。

2日目 本日は長丁場になる。本日も晴天、風無し。予定では8時間行程。頂上迄アイゼンは不要。朝一番はゆっくりと岩場の登り。

顔を上げれば常に槍穂が目に入り気分良く進む。常念の頂きからは蝶槍へ続く雪渓が見える。かなりの急登に見え思わず溜息が。常念岳から暫く岩場が続く雪渓手前でアイゼン装着。

雪はやはり腐ってトレースも見失いがち。下りのアイゼン歩行は要注意。慣れていないと滑ってしまう。

やや急な下りで1人、2人が3m～4m滑った。大事には至らなかったが手に怪我を負った。雪渓も思った程の急登ではなかったが疲れた足の運びが重く蝶槍の到着は6時間かかった。そして蝶ヶ岳到着は13:30。徳澤への到着15:00は難しくなった。アイゼンをはずして下山。また装着。

その後トレースの不明瞭さもあったり、アップダウンの疲れも手伝い遅くなった。到着が17時になりそうになり3名が先行して行くことに。

徳澤園に17時到着。なんとか日が明るい内に到着。夕食の後のお風呂は2日間の疲れを癒してくれた。



1. 4日朝 安曇野のホテル近くから望む「常念岳(左ピーク)



2. 一ノ沢登山口にてガイド歴50年遭対協会副会長の方に撮っていただく



3. 一ノ沢登山道の大滝 常念小屋まであと3.6キロ



4. 冬道は「胸突き八丁」をアイゼンで直登する
(登山口から山頂までの累積登り標高差は
1.5キロ)



5. 常念乗越に上がり、来た道をのぞく 急斜面をよく登ったものだ



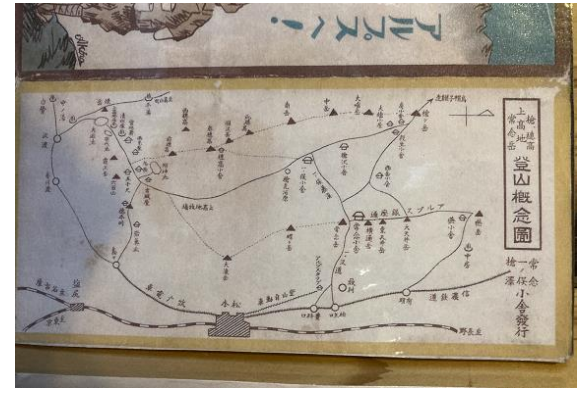
6. 前方のピークが明日登る常念岳



7. 常念乗越で記念撮影 常念小屋は背中に屋根が見えている



8. 常念小屋から北アルプスを遠望 中央の尖ったのが槍ヶ岳 明日もずっと視野にある



9. 常念小屋に掲示された戦前の北アルプス概念図 アルプス銀座通りには燕小屋と常念小屋しかない



10. 5日 小屋を6:00 に出て常念岳山頂に 7:15 到着 山座同定を楽しむ しばらく雪と岩稜のミックス状態



11. いくつかのピークを越え 12:15 蝶槍に 蝶ヶ岳はまだ先に



12. 蝶ヶ岳 13:25 到着 穂高の山々が美しい



13. 蝶ヶ岳からは下山口の近くまで雪道 長堀山 14:20 到着



14. 長くて雪で道がわかりにくい長堀山尾根 17:00 に登山口に到着



15. 6日 河童橋より穂高連峰に別れを告げる